令和7年度

政策3　未来につながる魅力的なまちづくり

国道４０６号（大戸工区）現道拡幅事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

・道路が狭く、車のすれ違いが危険な状況なので、安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)
・冬は除雪により通行スペースが狭くなるので、十分な幅員を確保してほしい。(地元住民)

事業の概要

■ 事業箇所:東吾妻町大戸
■ 事業内容:現道拡幅 延長 700m 道路幅 9.75m
■ 事業期間:令和元年度～

■ 現在の交通量:1,944台/日(自動車)
(R3年度)　2人/12時間(歩行者)
2台/12時間(自転車)

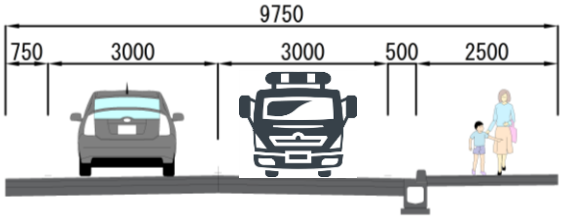
事業前

◆ 道路の幅が狭く、大型車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。

事業前の状況

事業後

◆ 道路の幅を広げ、大型車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行を確保します。

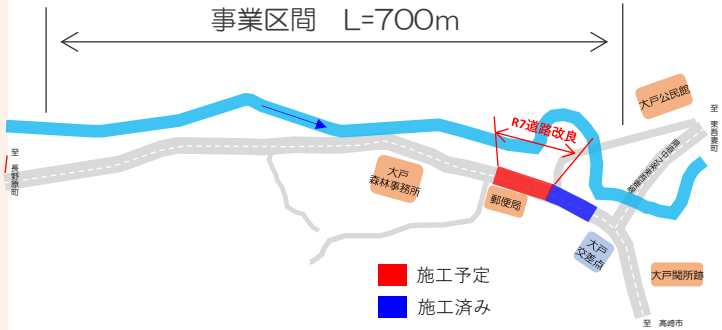


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
大型車両の通行機能	すれ違い困難(幅員5.0m)

実施後(目標)
すれ違いが容易に(幅員7.25m)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事および用地買収を進めていきます。

事業のすすみ具合　事業開始 ●――――――――――――――――――――――――――――――――● 事業完了